目次

◇研究　鴨綠江採木公司の事業
◇隨筆　十和田湖畔にて　後の一年有半
◇文苑　俳句
◇雜報　學校便り　卒業生名簿

第百九號　大正七年十一月廿五日

毎月廿五日發行　定期郵便物認可（第三種郵便物認可）

研究

鴨綠江採木公司の事業（續き）

坂本生

六、鴨綠江材の材積計算法及其材價

鴨綠江木材の材積計算單位の稱呼は、連、符、寸、料等の用語を用ひて其材積を表すを普通とす。

木材の大小に拘はらず長八尺物（日本尺八尺二寸）一本を一連と稱し十一連を一符と稱す故に拾六尺物を貳連、貳拾四尺物を三連と稱し恰も日本材の二間物三間物といふが如し。

一連、一符、と稱するも單位に其の長を表示するに過ぎずして其大さ材積を表はすものにあらざるを以て茲に寸なる語を用ひ其材積を表はすの方法を採れり、寸とは一寸角長さ八尺の材積を云ふ、例へば六拾寸の木材なりと知るを得可し。又此六拾平方寸の木材を一料と稱す、取引市場に於ては、常に一符の總寸數を以て其材積を言ひ表はすを以て普通とす、一符の寸數とは拾寸連の斷面平方寸の合計なりとす。

木材市價累年比較表（一符一千八百寸見當）

月別	明治四四年 紅松	明治四四年 杉松	大正元年 紅松	大正元年 杉松	大正二年 紅松	大正二年 杉松	大正三年 紅松	大正三年 杉松	大正四年 紅松	大正四年 杉松	大正五年 紅松	大正五年 杉松
一月	一、六七	一、一七	一、七〇	一、一〇	一、七九	一、一四	二、一五	一、八八	一、六五	一、一五	一、七五	一、一五
二月	一、七二	一、一九	一、七五	一、一五	一、八〇	一、一五	二、一七	一、八五	一、七〇	一、二〇	一、九〇	一、二五
三月	一、七四	一、一三	一、八〇	一、一八	一、八〇	一、一五	二、一七	一、八五	一、七〇	一、二〇	二、一〇	一、四〇

例へば一尺角（其斷面積百平方寸にして此の拾壹連（一符）の斷面積は即ち、壹千壹百寸なるを以て一尺角のものなれば、一符一千百寸の木材と云ふが如し。木材市相場としては常に一寸何程として其價格を表示するも實際賣買取引に際しては此の一寸の價より打算したる一符の價何程として相場を立つ例へば一寸の價、銀二分とせば一符一千八百寸の木材は參拾六兩なりとす。

今假りに一符千八百寸の木材は日本の幾尺締に當るやを知らんと欲せば、一符寸數を一五、千二百長尺（八尺の比）にて除するを要す、即ち千八百寸の木材は拾貳尺締ありとす、而して十二尺締の木材が銀參拾六兩にして銀壹兩は一圓貳拾錢替とせば一尺締の價は金參圓六拾錢に當るものとす。

鴨綠江材の材價は年に依り或は季節に依り高低ありと雖も、春季解氷入季節に至らば幾多の船舶江上に集り木材の出荷一時に夥しきを以て此の季節は一ケ年中材積の最高時季にして五月に入り新材筏の流下を見るに至れば漸次下向となり八、九月を以て普通者の最低時節とす、今前數ケ年間の安東に於ける木材價を示せば大畧左の如し。

| | | |

い程痛せたと見舞ひに行つた男が歸つて來た、その部内の八年度の豫算調査が終つてゐなかつたので二週間ばかり出張する、部落の惣代を務めてゐるといふ男の家に泊つて毎日輪尺やクリノメーターをかつぎ廻る山の頂きに登ると能代川に沿ふた平野は一眸の間に展開して靜かな秋風が吹いて居る銀糸を引つぱつた樣な、能代川はかしこの森、ここの丘に見ひかくれして靜かに流れてゐる、千町の稻田にはもう黃金の波を漂はして收穫期の忙しさが思ひやられる、汽車が日停車場を離れて黃金の波を押し分けて、やがて山のかげにかくれる。

檜の實が風もないのにポクリ〳〵と落ちる、山葡萄の紫色の房が色づいた葉かげから笑び出す、はつたけ、しめじ、まらたけと往き歸りの道すがら人夫は寄り道をして漁つて歩く『こうなると皮が剝けなくなる』と下葉の紅くなつた大きな杉の木を見やつて一人の人夫はいかにも慘酷な冬の襲來を恐れるやうに蔭鬱な顏をしてゐる。

『三』

夕方から降り出した雨は夜中から風さへ加へて夜明けから益々强くなる、裏の雜木林がゴー〳〵と唸る、庭の梨の木の梢がシュー〳〵と物すごい音を立てる、隣の畑の隅にあつた桐の木が三尺ばかりを殘して見事拂れて土藏の家根に倒れかゝる東向の雨戸をすつかり閉じて、机を北向きの小さな窓の下に移して仕事をする、障子を細目にあけて外を見ると、山の突角にある杉の木が弓のやうに曲る今にも折れそうだ、南瓜の藪がさつきに吹き倒された、草の穗が飛んで來る、木の葉が飛んで來る、風は益々烈しく雨もなか〳〵やまない、机に向つても心が一寸も落ち着かない。目を側の新聞にそらすと『風水害公報』といふ大きい活字が目につく。

（九・二四）

『四』

昨夜一寸やんだ風雨は今朝亦荒れ出す。是非やらねばならない用があつて人夫一人をつれて山に行く、『木の枝が折れて落て來るかも知れない』といふ不安に神經をイラ〳〵させながら半日で用を濟ます歸りには思ひかけない栗の實が落ちてゐる、早熟だらう地の木は未だ落ちない。二百粒ばかり拾つて歸る。『小坂鑛山の烟毒のために枯れて民有の栗は皆伐つて仕舞つた』と宿の主人は栗の皮をむきながら語り出す、ここから眞直ぐに小坂まで七里餘、鑛烟の害も恐ろしいものだ、『鑛山の烟突を高くしてから餘計い烟りが來るやうになつた』そうだ。

（九・二五）

後の一年有半

於白頭山麓　坂本光太郎

○夢より覺めて……

それから三四時間も後の事であつたろう。いゝ氣持で天國をさ迷ふてゐる所を『坂本さん！』眼を開いて御覽なさい』と看護婦に突然呼び起されてフト眼を開いて見ることは如何！今少し先に俎の上に載せられて居た樣な氣がしてゐたのに何時の間にか自分の室に運ばれチヤンと寢臺の上に枕もかわらないで寢て居るのであつた。まだ夢心地で天井を睨んでゐる中に直ぐ先の事がぼんやり頭に浮んで來た然し施術をしたのかしらんでも夢ぢやないかしらとよく〳〵見れば慥しかに自分の室である、帽子も洋服も懸けてあるのに氣がついた、眼は覺めたがなんだか五体が强い樣なダルイ樣な手足は桶になつた樣な氣がして、首さへ振り向くる勇氣がない。其所へ年の頃四十恰好の髮を撫で付けにした一人の婦人が這入つて來少し自分の横に立つて居て後窓の邊まで行つて靜かに出て行つた、それでも自分は頭を振り向けて見やらうともしなかつたすると看護婦が來たので今の事を話して居る處へまた一人の看護婦が來て『アラ坂本さんはまだ魔睡劑が戻らなんで婦人の方が來たなんてうは言を云つて居られるは……』と室の隅に立つてしきりと手を振つて二人の看護婦が制し合つて居るのが見へたので『いや僕はらは言を云つて居やしない慥かに正氣だよ實際今來たんだよ』と云ふがまだ信用せず『否エ夢です〳〵』そんな事はありませんそう話して居る所へ隣のた婆さんが這入つて來て『今私が來ました此のた方手術なされた樣ですが附添人がなくて如何

して居られるだろうと思つて一寸來て見ましたといはれたので慥しかに正氣である事が証明され大笑ひをしたのであつた。此のた婆さんこと隣のベランダーに居る附添人で眞の天理教信者で後をり〳〵自分の室に遊びに來て無聊を慰めて呉れた人である。天理教信者だけあつて何時來ても必ず話の末は天理教となり因果應報の理を數多の例を引いて熱心に說いて聞かして呉れ又天理教に關する書物などを貸して呉れ非常に親切な情愛の濃かな婦であつた。すると僕の今病むのも何か前世に於て惡業をしたのかしらと頭を左右に振つて考へて見たが、自分は生來これといつて惡い事をした覺には更にないして見るとこれが所謂災難といふものであろうか……。附添人は前日看護婦會の方へ申し込んで置いたが手術には間に合はず其の夜は此のた婆さんや看護婦の御世話になり翌日の午後になつて附添人が來た、ちよつと此の婦について惡口を叩いて見れば、年の頃は三十五六の脊の低い髮は當世流行のハイカラ髷で後から見ると一寸やさしい姿であるが、前から見るとそばかすのある顏で横から見ると高くもない鼻の尖のみがそりかへつて額を脱んで居る頗る的の美人名は○○○○と呼び大坂近郷の產物であるそうな。聲は鳥のその如くであるがそれでも風呂から上つて來ると椅子に腰かけて四角な姿見を前に立て扁平い鼻を摘まんだ後白粉か化粧水か何かいゝ香のするものを顏に塗りつけるやら髮を綠る恐らして、鏡の前で一回轉するのが順序である。これが所謂後千兩前一文の部に屬するのだ扱で他人の惡口は此の位にして置いて次を語らう魔睡劑から覺めぼせ少し熱が高まり稍苦しさを覺へ傷の痛みも層して來た少々大きな呼吸をしたり笑つたり或は脚でも動すものなら忽ち肛門が腹中に吸ひ上げられる樣な氣がして熱痛いので施術して益々苦しみを買つた樣に思つて居た。毎朝ゴム輪の寢臺車にて繃帶交換室に運ばれガーゼの詰替へをやつたそれから後それから後一週間は卵一ヶ牛乳一滴も口に入れる事を許されずたもゆ一瓶宛を藥飲みにて此のた婆さんから口へ注ぎ込んで貰つてゐたが、一小便すると最早た腹がグウ〳〵云つて居た傍で澤庵をコリ〳〵嚙る音や箸の音がすると飯が戀しくてなちなかつた。

○三角な掲示板二

寢台の頭の處に邊が五六寸の三角形をしたペンキ塗りの鉄力が吊されてある、これには赤青白の三種があり非常時に際し愚者を擔ひ出す時の目標になるもので、赤色は或は動く時は生命に關するとか又は擔架に依らざれば到底避難する能はざる重態患者なるを示し、青色は杖等を便りにする時は步行し得る稍輕きを表し、白色は全く杖或は人手をかりざるも差支へなき患者の寢台に附しあるものにして皆此れの白くなるを待つて居る樣である。自分は最初青色であつた樣に記憶してゐる。よく退屈のあまり巫山戲半分に唄などを書いて此の掲示板に貼りつけて置いて看着婦や附添人を笑はしめたものだ。

文苑

俳句

晩秋十題　湘雨子

戰跡を示す一基や霧流る

一葉落つる音のみにして霧深き

朝寒や口洗く川の石透ける

朝寒や懷手して鷄舍見る

採み馴れて利かぬ按摩や夜の長き

又しても小便に立つ夜長哉

鳶紅葉擊拆の音腸に入る

生苦の一經造る紅葉哉

騷かしき夜雨の杜や木の實飛ぶ

山門に木の實飜る〻音靜

林君の病床を見舞つて　湘雨子

末枯れを見る眼いみしく痛むらん

雜報

學校便り

○矢幡書記死亡　書記矢幡三十郎氏永眠せらる。氏は大正六年一月吾校に來任以來書記としては校務の爲庶務部顧問としては校友會の爲種々盡瘁せられつゝありたるが過

大正七年十一月二十五日

岐蘇林友

第百九號附錄

卒業生名簿

木曾山林學校

（明治四十四年十二月十四日第三種郵便物認可）

般二豎の犯す所となり百方手を盡したるも其の甲斐なく途に再ひたゝず十月二十三日午後十時不歸の客となりぬ。悲しい哉、越に十月二十五日午前五時氏の遺骸は米亡人及多數の親族に取圍まれ鄉里に向發せらる職員生徒一同之を停車場に見送をなす。

○天長祝日祝賀式　十月三十一日天長節祝日の祝賀式を講堂に於て擧行す

○柔道部大會　十月三十一日祝賀式終了後柔道部大會を道場に催す

○觀楓會　十一月二日職員生徒一同山吹山方面に觀楓を兼ね遠足會を催す

○庭球部及弓術部大會　十一月一日校庭に於て庭球部及弓術部大會を擧行したるも折惡しく降雨のありたる爲中止し越ねて全月四日引續き擧行す

○辯論部講演會　十一月六日午後辯論部講演會を開く神帝室林野管理局木曾支局福島出張所長原田林學士の山岳美に關する講演あり

○臨時休校　流行性感冒は當地に於ても益猖獗を極め職員生徒中罹病者多數の患者を出し尚蔓延の惧あるにより十一月廿日より十一月廿三日迄一週間學校及寄宿舍を閉鎖し臨時休業せり

○雜誌部顧問任命　新家前顧問轉任後矢員中の處十一月十四日佐藤教諭新に雜誌部顧問を命せらる

謝恩金領收報告

新家先生ノ分

金壹圓　加藤　芝藏君
金八圓　瀧澤銀次郎　小澤　安親
　　木下武夫　池野萬次郎
　　下平三雄　石曾根四郎
　　以上四君

內藤先生ノ分

金壹圓　加藤　芝藏君
金四圓　瀧澤銀次郎　小澤　安親
　　木下武夫　池野萬次郎
　　下平三雄　石曾根四郎
　　以上四君

北村先生ノ分

金五圓　今井眞二　近藤幸吉　喜多村弘
　　以上五君

金八圓　木下武夫　瀧澤銀次郎　小澤　安親
　　下平三雄　池野萬次郎
　　以上四君

金五圓　今井眞二　近藤幸吉　石曾根四郎
　　喜多村弘　以上五君

林友代領收報告

金壹圓五拾錢　小澤　安親君

新家先生謝恩金募集廣告

拜啓寒氣益々相加はり候折柄各位愈々御清祥之段奉賀候陳者明治四十四年以降校務の爲寄宿舍の爲又本誌の爲御靈座せられ去る九月に松本中學校へ御榮轉遊ばされたる新家先生の謝恩金募集に付ては早速御賛同被下難有御禮申上候尚未御賛同の向は左記御諒知の上此際是非共御賛同の樂に預り度此段得貴意候也

記

一、振替にて御送金の節は東京二七五六〇〇番木曾山林學校宛

一、締切期日は十二月十五日限

一、領收証は一々不差上林友誌上にて御報

可申上候

大正七年十一月　校友會

卒業生各位

弔慰金募集廣告

仝窓齋藤海藏君不幸にして二豎の犯す所となり過日遂に永眠せらる誠に痛惜に堪へず茲に吾々有志相謀り弔慰金を募り遺族に贈り以て聊仝君の靈を慰め度に付御賛同被下度此段得貴意候也追て弔慰金は十二月二十日迄に茨城縣水戸市土市大町菊屋旅館內關琴義宛に願上候

大正七年十月廿八日

發起人　關琴義　大塚田季治　石坂安次　小羽根

各位

大正七年十一月廿三日印刷
大正七年十一月廿五日發行

編輯兼發行人　長野縣西筑摩郡福島町四〇四番地　安井正夫

印刷者　長野縣西筑摩郡福島町五七〇番地　川崎本雄

印刷所　長野縣西筑摩郡福島町五七〇番地　川崎印刷所

發行所　長野縣西筑摩郡福島町一六九番地　蘆澤書店

卒業生名簿

ア の 部

福島町 帝林局 新井喜多雄
水戸小林区署 蘆澤庸三
石狩國土川村美郡分擔区 安藤次郎
青森縣西津輕郡鰺ヶ沢浦小林区署 赤羽高晃
岐阜縣大野郡飛騨村六厩小林区署 秋田富一可
德島縣高松小林区署 有賀正
福島縣安達郡高川村片倉組林業事務所

イ 井の 部

長野縣林務課 青井清三郎
不明 新井美九郎

ウ

鳥取縣廳 市川豊二郎
岐阜縣那坂本村 岩崎久兵太
帝林局三殿出張所 伊藤宗治
北佐久郡中佐都村 東潔
小縣郡長村 池田藤三郎
山梨縣北巨摩郡新富村 市瀬袈寿郎
帝林局野尻出張所 一木純一
新潟縣十日町森林測候所 市岡虎雄
岐阜縣惠那郡役所 今井健治郎
小縣郡丸子町 伊藤益雄
東筑摩郡宇賀村 川村質太郎
北安曇郡大町役場 石井左金吾
宮城縣加美郡宮崎保護区官舎 曾根四郎
福島縣浪江区署 伊藤昇次郎
靜岡縣河津帝林局出張所 伊藤德亟

エ

東京府勸業課 遠藤宗作
新潟縣廳拓殖部林務課 遠藤治一郎

オ

須原分擔区 大森久治
朝鮮海州旭町三七六 岡戸廣治
愛媛縣宇摩郡住友別子礦業所五良津派出所 小瀧丹太郎
上高井郡高井村 岡田恒治郎
石川縣珠洲郡若山村 尾井清
長野縣林務課 溫井重誠一
愛媛縣新居郡住友別子礦業所林務課 乙谷耕吉
臺灣台北下嵌社頂石路 大脇又衛
新潟縣南魚沼郡役所 熊田彌兵衛
湯舟澤帝局出張所 岡田彌四郎
島根縣鹿足郡日原小林区署 小藤作四郎
帝林局妻籠出張所 天島角藏
北安曇郡常盤村 大田喜代松
更級郡信里村 小田十郎
阿寺分擔区 與吳吉
朝鮮平安北道新義州營林廠自修舍 岡戸彌三郎
福島町帝林局妻籠出張所 小石西謙三郎
茨城縣日立礦山事務所 小羽根安治

カ の 部

南安曇郡島女町 小谷益實
茨城縣多賀郡日立鑛山 大洞盛一
長野縣小林区署 岡山善治郎
福島縣小林区署 荻原惠治郎
北海道札幌郡豐平町豐羽礦山事務所 長野小林区隱保護区 大馬之助
福島縣安積郡小山小林区署 恩田悅
茨城縣西筑摩郡日立鑛山 上條崎喜一郎
南安曇郡島女町 金井澄本雄
東京府豐能郡神樂村立農學校 上川深一郎
北海道旭川帝林局出張所 狩戸滋次郎
岐阜縣小坂帝林課 川岸純一郎
長野縣飯田帝林局出張所 加藤
東京小石川新營林廠七〇日本力行寮 朝鮮海州空地砂防課 池田萬次郎
愛知縣北設郡山田之助 伊藤仲治郎
朝鮮全羅北道林業技手 今井安助
北海道見細走町東洋マッチ會社北海道出張所 朝鮮平安南道平壤郡大同郡 大澤國男 岡村利一郎
福島縣大沼郡大芦村博士山研伐所 奥村猛
大坂府大林区署 小崎次郎
富山縣第三中隊四 大澤田國寶
北海道兵第六十九聯隊 大森恩田悅
不明 茨城縣甲府歩兵第四十九聯隊 大久保清三郎
高萩小林区署 大久保安親
大久保猪三郎
奥村和吉
大久保成五郎

ク の 部

岐阜縣付知帝林局出張所 石坂季治
北海道夕張町三菱鑛業會社夕張炭鑛 今井伊藤正
愛知縣北設郡山田之助 池田仲治郎
北海道空地砂防課 伊藤安男
朝鮮平安南道安州營林廠 今井
東京小石川新營林廠七〇日本力行寮 飯沼萬次郎
長野縣飯田帝林局出張所 稲葉要人
岐阜縣小坂帝林課 今井眞二吉
北海道旭川帝林局出張所 岩井洋治
樺太大坂府豐能郡神樂村立農學校 伊藤喜代治
臺灣南投廳砂連保林地捕街外三菱林竹事務所 今井欽
樺太大坂廳林務課 市岡正元吉
岐阜縣生野鑛山事務所 武茂正
東京西區南境川町大林組製材所 岩田深太郎
東京大農科大學造林學教室 田幾元
大坂府瀬戸村鑛業所利根出張所 伊藤
新潟縣長岩村分擔区 井上
群馬縣佐久郡役所 今井藤
愛媛縣別子礦山区署 出雲秀一郎
福島縣大沼郡大芦村 伊藤善藏
樺太若松東海岸泊串大寶商店 池口東福雄
下伊那郡平岡村熊伏製材所 伊藤厚
但馬國野鑛山事務所 岩田寬一
岐阜縣廳林課 市岡芳郎
岐阜縣那坂本村 今井徹郎
長野縣小縣郡長野村 今井忠雄
北海道空地砂防課 上田鉞二郎
愛知縣廳砂防課 上田正紫
福島縣小林区署 鵜澤周
茨城縣多賀郡日立鑛山 字佐美
南安曇郡島女町 今井
長野縣小林区署 今井
福島縣小林区署 今井
茨城縣日立鑛山事務所 今井
不明 今井
南佐久郡役所 今井
樺太廳內務部林務課 今井
靜岡縣盤田郡龍田村西川分擔区 今井
山梨縣廳管理課 今井
不明 今井
壬葉縣天津町 今井

岐阜縣中津町榮町 吉田
青島守備歩兵第三大隊四中隊張店守備隊 梅田
上田小林区署滋野苗圃 梅村計介
北海道廳拓殖部林務課 內田新之助
不明 內山伊那登
鵜飼政義

南安曇郡烏川村 唐澤清見
水内郡鬼無里村土役場 藤原太郎
小諸町純水館 朝倉源一郎
金澤野砲兵第九聯隊 太田健吾
靜岡縣盤田郡佐久間村古河久根銅山 加茂憲太郎 唐澤俊文

長春歩兵第六八聯隊第二中隊 川口勇次郎
金澤市大手町 加藤源一郎
北海道夕張登川村炭坑汽船會社下宿 開運隆飛登

愛知縣西加茂郡三好村福谷砂防森林事業所 各務傳六

群馬縣廳山林課 上條芳郎
秋田縣山本郡荷上場小林區署 梶田實治
北海道夕張帝林局出張所 加藤七藏
キの部 唐澤繁夫

三重縣廳大鹿村役場 木村鍬次郎
下伊那郡戸川伐木所 木村音次郎
帝林局瀬戸出張所 北村竹次郎
山梨縣營理課出張所 信美
宮城縣鐵道管理課 菊地貞次郎
熊本縣天草郡廣瀬村保護區 木村康明
横濱市日本水道株式會社 木下稗藏
上松局出張所 喜多村弘明
帝林局出張所 多川春
岐阜縣小坂帝林局出張所 北武夫
高知縣大林局出張所 木下安太郎
吾灣宜蘭外區署山營林局出張所 不明
クの部
愛媛縣廳 久保田傳一郎
南安曇郡烏川村 黑岩正平
帝林局出張所 倉澤眞

長野縣小林區署 長野瀬戸川
帝林局御殿田出張所 下伊那郡科分擔區
秋田縣七日市小林區署 下伊那郡清野村山林課
福島縣恩賜管理課 埴科郡羽村役場
帝林局出張所 岐阜縣廳
山梨縣北巨摩郡小淵澤村役場 千葉縣印幡郡富里村吉川家林業事務所
帝林局出張所 下伊那郡伊賀良村役場
福島縣越雲出張所 山口縣玖珂郡廣瀬村吉川家林業事務所
帝林局野尻出張所 藏田毅郎
青森縣至役所 尾眞
石川縣鳳凰邊地小林區署
サの部
西筑摩郡役所 小池金三郎
下伊那郡小川村 小池新蒼
朽木村伊那郡役所 小池伍市郎
北海道湯舟澤村役場 小林桂精
岐阜縣久保田出張所 小松內
佐賀郡帝林局出張所 小池作治
長野縣岩村田出張所 小池貞一郎
下北郡大畑村役場 小松哲三郎
山梨縣小淵澤村役場 小林秀一
秋田縣一ノ關小林區署 近藤政基
東京市麹町區 小原英
石川縣羽咋郡高濱村 小池幸一
帝林局出張所 小林吉郎
山梨縣八代郡黑駒村 小池靜雄
帝林局出張所 小池茂樹
秋田縣北上東京小道端村 小池良輔
秋田縣仁鑛山事務所 小池茂樹
東京市石川區水道端一ノ三七 小池岩井
石川縣能登羽咋郡高濱村小林區署 小松右樹
帝林局出張所 小池內
山梨縣八代郡黑駒村 小池林
帝林局出張所 小池不明
秋田縣出張所 小池秋田郡大輪門村
秋田縣北上郡奥明日市國田甚三郎方 小池小川林區署
長野縣小林區署役所 小池西筑摩郡伐所中立製材所事務所
帝林局出張所 小池花輪
南安曇郡古屋支局 小池不明

大分縣西臼杵郡椎葉村住文製紙所 坂田勘太郎
岩手縣廳山林課 佐藤光造
新潟縣村松小林區署 澤柳壽夫
新義州朝鮮製紙株式會社 坂本光太郎
下伊那郡上郷村西條小林區署 佐久木武一郎
愛媛縣シの部 柳原重
靜岡縣周知郡帝林局氣多出張所 篠原忠治

茨城縣日立鑛山事務所 下條初太郎
西筑摩郡吾妻村 代田善次郎
秋田縣山本郡太良礦山 古川家林業部 三

岐阜縣惠那郡福岡村 島田雄太郎
長野縣大田原小林區署 志津忠次郎
山梨縣北都留郡道志村 篠原昇士郎
樺太大泊製紙株式會社 鹽川勤四郎
石川縣石川郡役所 篠原金次
北海道旭川區地方費森林旭川事務所 代田文之助 一

栃木縣今市小林區署 下平
臺灣總督營林局 白木
福島縣安達郡高川村片倉組林業部內 下平 四

群馬縣沼田小林區署 下島
西筑摩郡奈良井 志津 五
不明 島田德之助 五
下枝 鹽澤英一 六
スの部 壽一 七

青森縣廳 岐阜縣分擔區 八
北海道 加茂郡 九
山口縣 佐賀郡 一〇
下北郡大畑村 久留米市 一一
山梨縣小淵澤村 福島縣 一二
秋田縣 帝林局出張所 一三
東京市 秋田縣 一四
石川縣羽咋郡高濱村 秋田縣 一五
帝林局出張所 秋田縣 一六
山梨縣八代郡黑駒村 秋田縣 一七
帝林局出張所 秋田縣 一八
秋田縣北上郡奥明日市國田甚三郎方 秋田縣 一九
帝林局出張所 秋田縣 二〇
山梨縣小淵澤村役場 秋田縣 二一
長野縣小林區署 秋田縣 二二
秋田縣 秋田縣 二三
岐阜縣 秋田縣 二四
帝林局出張所 秋田縣 二五
山梨縣小淵澤村役場 秋田縣 二六
秋田縣 秋田縣 二七
秋田縣 秋田縣 二八
秋田縣 秋田縣 二九
秋田縣 秋田縣 三〇
秋田縣 秋田縣 三一
秋田縣 秋田縣 三二
秋田縣 秋田縣 三三
秋田縣 秋田縣 三四
秋田縣 秋田縣 三五
秋田縣 秋田縣 三六
秋田縣 秋田縣 三七
秋田縣 秋田縣 三八
秋田縣 秋田縣 三九
秋田縣 秋田縣 四〇
秋田縣 秋田縣 四一
秋田縣 秋田縣 四二
秋田縣 秋田縣 四三
秋田縣 秋田縣 四四
秋田縣 秋田縣 四五
秋田縣 秋田縣 四六
秋田縣 秋田縣 四七
秋田縣 秋田縣 四八
秋田縣 秋田縣 四九
秋田縣 秋田縣 五〇
秋田縣 秋田縣 五一
秋田縣 秋田縣 五二
秋田縣 秋田縣 五三
秋田縣 秋田縣 五四
秋田縣 秋田縣 五五
秋田縣 秋田縣 五六
秋田縣 秋田縣 五七
秋田縣 秋田縣 五八
秋田縣 秋田縣 五九
秋田縣 秋田縣 六〇
秋田縣 秋田縣 六一
秋田縣 秋田縣 六二
秋田縣 秋田縣 六三
秋田縣 秋田縣 六四
秋田縣 秋田縣 六五
秋田縣 秋田縣 六六
秋田縣 秋田縣 六七
秋田縣 秋田縣 六八
秋田縣 秋田縣 六九
秋田縣 秋田縣 七〇
秋田縣 秋田縣 七一
秋田縣 秋田縣 七二
秋田縣 秋田縣 七三
秋田縣 秋田縣 七四
秋田縣 秋田縣 七五
秋田縣 秋田縣 七六
秋田縣 秋田縣 七七
秋田縣 秋田縣 七八
秋田縣 秋田縣 七九
秋田縣 秋田縣 八〇
秋田縣 秋田縣 八一
秋田縣 秋田縣 八二
秋田縣 秋田縣 八三
秋田縣 秋田縣 八四
秋田縣 秋田縣 八五
秋田縣 秋田縣 八六
秋田縣 秋田縣 八七
秋田縣 秋田縣 八八
秋田縣 秋田縣 八九
秋田縣 秋田縣 九〇
秋田縣 秋田縣 九一
秋田縣 秋田縣 九二
秋田縣 秋田縣 九三
秋田縣 秋田縣 九四
秋田縣 秋田縣 九五
秋田縣 秋田縣 九六
秋田縣 秋田縣 九七
秋田縣 秋田縣 九八
秋田縣 秋田縣 九九
秋田縣 秋田縣 一〇〇

北海道小樽三井物産會社
山梨縣西八代郡役所
臺灣總督府營林局
山形縣柿林務課
讀書縣村其分擔區
岐阜縣加茂郡七宗帝林局出張所
盛岡等農林學校
西筑摩郡開田村
三厩御料出張所
群馬縣多野郡上野村
秋田縣秋田市中長町伊吹方
石川縣鹽出張所
帝林局生滝出張所
北佐久郡岩村田町
茨城縣立鎮山萬城内合宿所
北安曇郡役所
岐阜縣知多郡
秋田縣道夕張帝林局出張所
北海道夕張郡登川村炭坑汽船會社下宿
西筑摩郡木祖村
北海道小樽高等學校
愛知縣南設樂郡新城帝林局出張所
西筑摩郡開田村
北安曇郡役所
北海道天鹽中川帝林局出張所
田近善右衛門
田種倉隨藏
竹田中泰吉
澤田節三
秋藏

新潟縣村上小林區署
東筑摩郡駒ヶ片根村
西筑摩郡三岳村
愛知縣東加茂郡役所
福島縣太田郡支廳
土水內郡役所
上高井郡吉村
西筑摩郡三岳村
岐阜縣下呂帝林局出張所
飯田測候所
東京麻布區高輪町
東京目黒林業試驗所
栃木縣今市小林區署
埼玉縣兒玉郡長幡村
豐橋步兵第六十聯隊第一中隊
山梨縣北巨摩郡
群馬縣碓氷郡
長野縣小林區署
長野縣小林區署第二號小國保護區官舍
長野縣小林區署
新潟縣村上小林區署
福島町
青森市鐵道保護事務所
朝鮮總督府小林課
熊本縣菊地小林區署
埼玉縣北足立郡大和田町平林寺
帝林局王子製紙株式會社分社
宮城縣刈田郡七ヶ宿村渡瀬
福島縣喜多方小林區署
南佐久郡臼田稻扱小保護區官舍
上伊那郡役所
北海道兵第六十聯隊第一中隊
小千谷工兵第十三大隊第一中隊
上松御料出張所
北海道振古小牧帝林局出張所
高知縣紙會社苫小牧分社
大林區署
ヒの部
下伊那郡會地村
下伊那郡和田村
西筑摩郡奈良井
ニの部
長野縣鳥居峠
中村
長崎千萬
五郎
中垣英一
中島信敏
成瀬義郎
中村豊治
中島源一郎
中澤浩
中島昌一
永井順利
仲俣吾市
仲田今要
仲田惠
中澤辰雄
中島要八
中村力官
戸田績
等々力與八
等々力官一
長谷部眞一
羽田龍尾
貴一
原田
長谷川房藏
林勘次
原彌
早川雄造
原正一
長谷部久毅
長谷川治二
原治
原川正只一
肥後金四郎
肥田幸一郎
廣瀬靜之進
小山勇雄
樋口稻
平田
樋口雅亮
日野智久
樋口德一
樋口智亮
樋口勵則
日野美
平田清
平田久良
廣瀬運
日野櫻亮
長谷部義
長谷川
長谷部
長谷川
長谷部
長谷川
長谷部

福井縣遠敷郡役所 福田友郎次
東京市日本橋區三井物産株式會社木材部 福井利吉

宮崎縣西諸郡加久藤小林區署 古根畑金藏
鳥取縣八頭郡若櫻町官行斫伐所 藤卷壽一
兵庫縣生野町三菱合資會社 古畑要吾
福島縣若松小林區署 藤田七三郎
富山縣下新川郡舟見町保護區官舍 古見利一
石川縣羽咋郡西增穂村所 不破修六
鳥取縣八頭郡役所 深澤久治
西筑摩郡土松園妙心寺 古澤茂林
京都市外花園妙心寺 藤枝定雄
福岡縣嘉穗郡稻築村 福澤茂
青森縣喜良市小林區署 富士川鏡一
長野縣小林區署 藤原幾喜
諏訪郡川岸村片倉組事務所 古畑今朝茂勳

ホの部

西筑摩郡大桑村 洞山鹿之助
茨城縣立鑛山事務所 細江七兵衛
札幌帝林支局深川出張所 細窪友一郎
朝鮮京幾道蘇屹面光陵林業試驗所 星加正雄

マの部

Nauglotaa No5—16e17 Beach road Singapore

西筑摩郡吾妻村 松原定一郎
東京麹町區帝室林野管理局 松井道一
嚴手縣遠野小林區署 前野太郎
石川縣大聖寺川伐木所 松館九平
帝林局瀬戸小林區署 松島萬吉
静岡縣金谷帝林局分擔區 松澤莊太郎
松本清太郎

西筑摩郡開田村 青森縣增川小林區署
福島町豊樂村 西筑摩郡大桑村
埴科郡駒ケ根村 帝林局藪原出張所
西筑摩郡駒ケ根村 西筑摩郡南都留郡役所
和歌山縣竹婁郡山口村藤田組小原伐木所 山梨縣藪原測候所
近衛歩兵第一聯隊第十中隊 前田久吉
モの部 松島周一
長野縣上田小林區署 丸山岩吉
朝鮮總督府山林課 丸山金三郎
岐阜縣廳 曲田秀二郎
福知山工兵第十大隊第三中隊 丸山久雄
樺太大泊王子製紙株式會社 前田正義
野尻帝林局出張所 松島周

ヤの部

鳥取縣日野郡役所 山浦藤三郎
朝鮮平安北道江界郡高山鎮營林廠出張所 柳澤邦信
熊本縣球磨郡多良木小林區署 柳澤常記

ヨの部

熊本縣人吉小林區一勝地製材所 山下治
埼玉縣勸業課 藤一郎
茨城縣日立鑛山事務所 矢島二郎
秋田縣下高井郡穗波村 駒三郎
鹿兒島縣高等農林學校 山村克人
青森縣北津輕郡中里村 山本政之亟
福島市小林區署 家高甚一
栃木縣廳 山崎三男
福島町 柳澤義雄
青森縣上内真小林區署 柳澤得衛
福島町 安井嘉一郎
山梨縣谷村町恩賜管理課出張所 矢島武六
仙臺市小林區署 山崎兵平
岐阜縣歩兵第六十八聯隊補充大隊第二中隊 安江悦次郎
岩手縣沼宮内小林區署 山下不二三郎
北海道夕張登川村三菱炭坑會社 矢崎清海

ワの部

西筑摩郡宮ノ越帝林局分擔區 吉田精一
静岡縣廳 由尾忠輔
帝林局王瀧出張所 横山治八

poBox912 huwbw byHauaii

福島町 吉村佐十郎
東京大林區 吉田金次郎
栃木縣林務課 吉澤英雄
福島町 吉池九郎
小縣郡依田村 吉川眞夫
東京澁谷八八有馬館 吉井光雄
木曾支局小林區署 横井正

東京府高田村大原一ノ六〇四 輪湖正由一

長野縣大町小林區署 宮崎光治
青島守備軍民政部總務部林務所 宮澤嘉八
西筑摩郡開田村 三尾一郎
新潟縣魚沼郡六日町小林區署 宮澤貫三
大川郡福榮村入野山林區官舍 水上功

西筑摩郡田立村 壯三
上松 宮川昌平
奈良井 宮下孝美
帝林出張所 岩島見
東京府赤羽工兵大隊第二中隊第五班 皆川秀雄

福島町 三村善三

ムの部

西筑摩郡開田村 向井辰次郎
福島町豊樂村 村井正三郎
埴科郡駒ケ根村 村上一清
西筑摩郡駒ケ根村 村松安太郎
和歌山縣竹婁郡山口村藤田組小原伐木所 向井英雄
近衛歩兵第一聯隊第十中隊 向井帷晨

モの部

長野縣上田小林區署 森正次
朝鮮總督府山林課 森清右衛門
岐阜縣廳 森巖
福知山工兵第十大隊第三中隊 森潔
樺太大泊王子製紙株式會社 森下義郎
野尻帝林局出張所 百瀬三一

ヤの部

鳥取縣日野郡役所 山浦藤三郎
朝鮮平安北道江界郡高山鎮營林廠出張所 柳澤邦信
熊本縣球磨郡多良木小林區署 山下常記

卒業生名簿

東京大林區署	鷲澤忠治	二	東京市麻布區[illegible]	一八六〇
群馬縣沼田小林區署	和田宗吾	四		
西筑摩郡役所	脇田義正	五		
小林區署	岩遊龜雄	六		
愛媛縣宇摩郡役所	和田守衛	七		
北海道旭川上川營林區署	渡邊知則	〇		
群馬縣沼田小林區署	和田實也	五		
山梨縣南都留郡鳴澤村	渡邊隆知	五		